3団体トップインタビュー

非鉄リサイクル特集

非鉄金属リサイクル全国連合会

六車龍三会長

――非鉄全連のスローガンである『進会楽』を打ち出して1年が経過した。会員に意識変化などは生まれてきたか。

「2019年3月期の定時総会は大阪市内で開催したが、家族連れでも参加しやすい場所を会場に選び、過去最多となる210人超の出席者が集った。連合会は交流の場を提供することが役割の一つと考えており、多くの方々に種々の会合に出席していただき、その出会いを通じて新たなビジネスにつなげていってほしい。出会いの場には将来、宝となる情報が眠っているはずだ。それを掘り起こしてきている。従来のビジネスモデルでは通用しないケースが多々出てきている。時代に対応していくためにも、会員企業から従来の枠を超えたリサイルの姿を見せることができる企業が出てくることが求められている。業界を良い方向に引っ張ってくれる『とんがった』企業が数多く顔を見せてくれることを期待したい。そのためにも進会楽の場を積極的に活用してほしい」

「とんがった」企業に期待

――中国の金属スクラップの輸出規制は7月から強化され、廃プラスチックなど廃棄物処理の在り方も国際問題化している。非鉄全連としての対応は。

「もはや個社で対応できる範囲を超えた動きになってきている。バーゼル法改正の際のように経済産業省や環境省としっかりと連携し、当業界の要望を直接、国に伝えるようにしていかなくてはならない。国と連携を図りつつ、動脈企業と最終的なリサイクルまで考えたものづくりの姿を考えていければ幸甚だ。そのためにも政府にはリサイクル関連企業への一層の支援をお願いするとともに、リサイクルのプロであるわれわれとしても適正な資源循環を根底においたうえでの社会デザインを考えていくべきと考えている」

――今後の非鉄金属リサイクル業の行方について見解を。

「動脈産業側では加速度的に変化が生まれており、ITやIoTなどの動きが進んでいる。将来的には多くの作業が自動化し、人手が不要になる部署が増えていくだろう。その一方、静脈産業は動脈側と比較して自動化が難しく、ある程度は人手に頼らざるを得ない。実際、業界各社では現在、人手不足に苦慮している。だが、将来的には動脈産業で余剰となった人員の受け皿に静脈系企業がなるとみている。そうなれば人手不足の解消になるだけでなく、地域雇用の安定にも貢献できる。われわれ静脈産業が真価を発揮するのはまさにこれからだ」

（服部 友裕）

軽金属同友会

高沢秀雄会長

――アルミ原料を取り巻く現況について。

「米中貿易摩擦が響いている。中国向けに品物を造っていた工場は、今後の生産計画見通しが立たないようだ。5月の大型連休が引き金となり、工場が一斉に止まったままの印象を受ける。工場での生産が落ち込んだ影響を受け、われわれが引き取る原料も直近ピークの半分くらいの量にとどまる」

――原料の発生量が少ない。

リーマン時に似た状況

「原料を動かすことで、われわれ問屋は利益を得ている。アルミ原料の価格は1年以上にわたり下落基調と厳しい状況だが、米中貿易摩擦前であればまだ品物があった。今は下げ局面というだけでなく、物が動いていない。中国の環境規制強化により国内に滞留していた品物は、輸出業者を含めほとんど出し切ったとみられる。まるでリーマン・ショック時を彷彿とさせる。リーマンの時には原料の単価が一気に大きく下がったため、後はどこまで値を戻すかだけだった。現在は下落基調が続いている分だけ、底が見えない」

――中国の環境規制強化による影響は。

「廃バッテリー（使用済み自動車用鉛蓄電池）が置かれた状況と、アルミ原料は似ている。韓国向けの輸出が止まった廃バッテリーは、供給過剰と価格下落に見舞われた。軽金属同友会が毎年発表しているアルミ原料取扱量の2018年スクラップ品目別を見ると、その他が1万9419㌧と前年比31・4％増えた。中国に輸出していたスクラップが、同友会にも回ってきたといえる」

――中国向けに流れていた品物の国内処理が求められている。

「足りないからアルミ原料が欲しいと話すメーカーはいなくなったが、丁寧に加工して原料の高品質化を目指す、われわれの気持ちは変わらない。使う人たちに良い物だと感じてもらえる品物を作るという、職人気質は大事だと思う」

「一方で、今まで通りのやり方では難しいだろう。大手の問屋であればシュレッダーや選別機を導入するところが多くなるだろうし、中小の問屋であれば新しいチャレンジをしていくことになる」

――アルミ原料を含めた、今後の業界展望を。

「米中の間で何かしらの合意に至らなければ、われわれの厳しい状況はどうにもならない。ロンドン金属取引所（LME）アルミ相場の戻りも期待しづらく、しばらくは市況も冷え込みそうだ。予定通り消費税が引き上げられれば、国内景気が落ち込み、アルミ原料の発生量はさらに減少するだろう」

「これから環境問題がよりクローズアップされ、ごみ問題に対する世間の意識はより高まっていく。世界を見渡せば、環境に負荷のかかる製品を避ける企業も出てきた。企業イメージ向上のため、リサイクルしやすい製品が国内でも造られていくのかもしれない」

（藤田 章嗣）

電線リサイクル協議会

髙山周三会長

――現在の業界の状況は。

「4―5月の大型連休後から、海外銅相場が大幅に下落している。長引く米中貿易摩擦の影響で、ナゲット原料の電線類の発生が少ない。また、連休前に手当てした多くの原料で評価損が発生している。

産廃処理費高騰が課題

――ナゲットの引き合いはどうか。

「伸銅品・銅溶メーカーとも製品の受注量が減少しているため、赤ナゲットは他の銅スクラップと同様、メーカー各社の買い気が非常に鈍い。また、昨年から急激に増えた中国系ナゲット業者は前処理が慣れてきたようで、品質の良い1号ナゲットも作れるようになっている。そうした影響もあり、市中でナゲットは余剰となりそう」

――ほかに、業界の問題は。

「廃棄物の産廃処理費用が高騰していることが一番の問題だ。2018年の処理費用と比べ、今年に入り2倍近くに値上げされたところが多いと聞いている。電線被覆材であるPVC（ポリ塩化ビニル）の処理問題については周知が徹底しており加工賃も取りやすくなっているが、これ以上産廃処理費用が値上げしてしまうと、ナゲット業者の経営を圧迫しかねない」

――原因はどこにあるか。

「廃プラスチックは、中国への輸出が禁止されてから、世界中で滞留してしまっている。日本も例外ではなく、最終処分場の数が足りていない。周辺住民の反対や、環境上の問題でなかなか新規の処分場を作るというのは難しいようだ」

――環境省が、産業廃棄物を一般廃棄物処理施設で処理することを要請したが。

「期待はしているが、相場環境は今後も予断を許さない状況だ」

一般廃棄物処理施設にどれぐらいの余力があるのか、塩素系のプラスチックによる炉の痛みなどはどう対処するのかなど問題は山積しているように思う」

――長らく言及されている人材不足については。

「ここにきて顕著になってきている。転職市場は、空前の売り手市場となっており、どこも人材不足だ。求人募集をしてもなかなか人が集まらない。人件費も上がっているため、ナゲット各社が頭を悩ませている」

――協議会の今後の運営方針は。

「親交をより一層深め、情報交換を密に行っていきたい。また、産廃処理の問題については行政や非鉄金属リサイクル全国連合会などの他団体とも改善に向けて連携を取っていきたい」（太田 祐一）

非鉄金属スクラップ全般
産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬業
有限会社 長嶋軽金属
http://www.nagakei.co.jp
本社 千葉市若葉区野呂町 1335-41
TEL043-228-4515 FAX043-228-4737
中田営業所 千葉市若葉区中田町 2188-1
TEL043-307-0220 FAX043-307-0222
アルミ 銅 ステン
Nagashima

事業内容
■廃触媒・電池・非鉄金属・貴金属・レアアース・超硬屑・Wスラッジ等のリサイクル、地金販売（Ni・Co・Mo・Cu・Zn・Sn・Mn・Bi・W 等）
■化学工業薬品の販売（三酸化アンチモン・TBZ・ジンクピリチオン・ナトリウムピリチオン等）
■受託加工（焼成・乾燥・混合・撹拌・粉砕・梱包・ふるい掛け）
中国興業株式会社
〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲6-1-4 TEL.06-6454-1221
詳細はお問い合わせください。
http://www.chemical-metal.co.jp/index-j.html

金属リサイクル特集 2019
資源循環型社会の発展を支える 有力非鉄スクラップディーラー

レアアース・レアメタル合金等の製造・販売
スーパーアロイ、電池屑、SmCoMG、NdFeBMG屑・スラッジ、コバール、ステライト、特殊合金スクラップの選別、検収、販売
ISO9001:2015 JQA-QM8351 認証取得
株式会社 林商会
代表取締役社長 林 正裕
〒580-0006 大阪府松原市大堀1丁目15番29号
TEL072(331)8529㈹ FAX072(335)1524
URL:http://www.hayashi.com

各種再生鉛地金製造販売
活字鉛地金（25kg角丁）在庫豊富
鉛管板屑高価買取
ご注文お待ちしております
雨滝商事株式会社
広陵リサイクルセンター
代表取締役 雨瀧 卓
〒635-0823 奈良県北葛城郡広陵町大字三吉27―1
TEL/FAX(0745)60-1613、携帯090-2115-4918
HP：http://www.ametakishouji.co.jp
E-mail：metal@ametakishouji.co.jp

Recycle

株式会社 メタルドウ www.raremetal.co.jp/
本社 大阪市浪速区湊町2丁目2番45号オンテックス難波ビル11階 TEL.06-6635-5151
1st物流センター 大阪市此花区常吉1丁目1番76号 TEL.06-6462-5851
2nd物流センター 神戸市中央区港島南町3丁目5番4 TEL.078-306-1108
東京支店 東京物流センター 東京都大田区東糀谷6丁目2番11号 TEL.03-5735-5070 TEL.03-5735-5065

レアメタルのリサイクルを通じて
『循環型社会』の構築に努めております。
ティーエムシー株式会社
http://www.townmining.co.jp/

中国向け輸出ライセンス取得
CNAS ISO:9001
◆高価買取◆
工具鋼屑（ハイス・超硬（タンガロイチップ）、ダイス鋼）
二次電池屑（リチウムイオン・ニッケル水素）
レアメタルリサイクル全般
日鉄ステンレス・日鉄日新製鋼指定 大阪商工会議所 会員 大阪府工業協会 会員
富士興産株式会社
代表取締役会長 小川 金治郎
代表取締役社長 小川 眞弓
本社 〒556-0016 大阪市浪速区元町1-5-7ナンバプラザビル10階
TEL.06-6630-7066 FAX.06-6630-7067
工場・倉庫 〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3-7-14
URL http://www.fujikosan.jp E-mail aat61140@par.odn.ne.jp